



心豊かに育ちあう

沢の子

令和7年度 重点目標

“すすんで考え学びあう、
笑顔あふれる”
子どもの育成

余市町立沢町小学校 令和7年11月28日(金) 第8号

師走に向かい大切にしたいこと

校長 森木 真也

来週月曜日からは早くも師走を迎えます。12月は、「師（僧侶）が走り回るほど忙しい月」という由来で名づけられました。あっという間に過ぎ去っていく時期となります。

さて、今月の全校朝会では下記の話をしました。

先日、いじめのアンケートをとりました。今年で2回目です。6月のアンケートから10月までに嫌な思いをした人は、この学校に14人います。一番多かった嫌な思いしたことは、「からかい」や「ひやかし」でした。

今日は、友達や他の人との間でおきる問題で、特に人の心を傷つける問題を、難しい言葉ですが、「人権問題」と言います。

この後、優しい心と冷たい心について触れ、以下のように続けました。

気をつけないと、知らず知らずのうちに友達にいやなことを言って、知っていても、冷たい心のコントロールができなくなり、友達にいやなことをしている時があります。「ちょっとだけなら、からかっても大丈夫」が「からかっていると楽しい」に変わり、いやがることを続けてしまうことに繋がってしまいます。これが冷たさのもつ不思議な力です。冷たい心を開けてしまうと悲しいですね。

(中略)

弱いものいじめ、人のいやがること、相手を傷つける言葉を言うてしまうことは、絶対に許されないことです。冷たい心の扉は開けません。皆さんは、時々、自分の心をのぞいてみてください。そして、どちらのとびらを開けようとしているのか、よく考えてください。沢町小学校の皆さん一人一人が、やさしく温かい心の持ち主になってほしいと、いつも願っています。学校で、友達みんながいやな思いをして悲しむことのないように、笑顔で気持ちの良いあいさつをかわし、仲良く、楽しい学校生活が送れるようにしていきましょう。

12月4日から10日までの1週間は「人権週間」です。国際的に定められた「人権デー」（12月10日）を最終日としています。この期間には、世界人権宣言の理念を広め、人権尊重の意識を高めるための啓発活動が全国的に行われます。

また、12月3日から12月9日までの1週間は、「障害者週間」です。この期間は、障害者基本法に基づいて定められており、障害のある人への関心と理解を深めることを目的としています。

2学期の残り1か月の中で学校では、子どもたち一人一人が今年の自分の姿の振り返りをしていきます。特に、あいさつ・言葉遣い・人との接し方については、地域ご家庭の中でも姿として表れることです。気になることがありましたら、子どもたちへの声掛けをお願いします。子どもたちが明るく笑顔で過ごし年末を迎えられますよう、ご協力をお願いいたします。